

学会開催報告 ～日本生産管理学会第22回全国大会～

Report on 22th Meeting of the Japanese Society for Production Management

國 澤 英 雄

日本生産管理学会の第44回全国大会が、日本生産管理学会主催・朝日大学経営学会後援で、2005年9月3日(土)、4日(日)に愛知県中小企業センター(名古屋市市中村区名駅)で行われた。統一テーマとして「IT活用型“ものづくり”と生産技術」が掲げられ、基調講演、特別講演、招待講演、研究発表(62件)、支部研究報告(2件)などと時宜にかなったテーマのもと、充実した内容で盛大に行われた。

1. 全国大会プログラム

全国大会のプログラムは9月3日、4日の両日にわたり、別表に示す内容で行われた。統一テーマは、特に強いといわれる中部地方の「IT技術を活用した“ものづくり”生産技術」に焦点を当て、今後日本の“ものづくり”を生産管理の視点から、どのように推進すべきかをテーマに行われた。

2. 学会報告

①基調講演：國澤英雄(朝日大学教授)は、2004年3月に自らが調査し報告した「IT技術を活用した中小“ものづくり”生産技術の高度化」(日本機械工業連合会)の内容をもとに、なぜ“ものづくり”先端企業といわれる企業はその地位を築くことができたかについて述べ、卓越した“ものづくり”生産技術を得るためには、他社が追従できないようなオンリーワン生産技術を特定の分野に持ち、それを核とした製品開発・商品開発を行うべきであるなどと、今後の「IT技術を活用した

“ものづくり”生産技術」のあり方について提案を行った。

②特別講演Ⅰ：池田良夫氏(愛知学院大学教授)は、ビジネス界での情報化・国際化・環境経済活動への対応は著しい進展が見られるにもかかわらず、学会では理論・実践研究活動の一環としての国際交流の活動は著しく遅れている。そこで生産管理学会の目的と事業を視座において、生産管理学会が連携すべき国際会議と国際会議の運営形態についての講演を頂いた。

③特別講演Ⅱ：山本勝氏(名古屋工業大学教授)は、これからの高齢社会で必要となる良質な保健、医療、福祉(介護)サービスを、計画的に効率よく提供することを目指した地域保健・医療・福祉システムの構築とその運用についての講演を頂いた。

つまり、このシステムを作るために必要な地域関係者の意識改革、連携促進並びに情報化推進の意義・役割及び具体策等についての実態調査分析結果をもとに、「各種資源の共同利用システム並びに連携ネットワークの導

入]、「関連情報共有化とIT支援ネットワークの導入」、「人間尊重と人材確保・育成・活用のための人材総合研修システムの開発」などの必要性についてお話を頂いた。

最後に、今回の学会開催に関しては朝日大学経営学会より財政的な支援を頂き、まことにありがとうございました。改めてお礼申し上げます。またこの財政的なご支援のみならず、基調講演、特別講演、招待講演、研究発表、支部研究報告などにご参加いただきました朝日大学経営学会会員の皆様にもこの場を

借りて、お礼を申し上げます。

(文責：日本生産管理学会の第44回全国大会
実行委員長 國澤英雄)

(学生大会協力者)

木村 茲(大学院経営学研究科博士後期課程)

李向陽(大学院経営学研究科博士前期課程)

田鑫 (")

今井崇浩(")

高玉 (")

鐘科 (")

別紙

日本生産管理学会の第44回全国大会プログラム
統一テーマ：「IT活用型“ものづくり”と生産技術」

9月3日(土)(第1日目)

12:00~14:00 編集委員会、受任理事会・理事会

14:20~16:30 学会報告

14:20~14:30 開会の挨拶 國澤英雄(実行委員長)、児玉正憲(学会会長)

14:30~15:30 基調講演 國澤英雄(朝日大学教授)

15:30~16:30 特別講演Ⅰ 赤崎まき子(エイワークス代表)

16:35~17:45 会員総会

18:00~20:00 懇親会

9月4日(日)(第2日目)

9:20~16:30 学会報告

9:20~10:00 特別講演Ⅱ 池田良夫(愛知工業大学教授)

10:05~11:40 研究発表、支部研究報告、会員著作物紹介

13:00~13:50 特別講演Ⅲ 山本勝(名古屋工業大学教授)

14:00~16:25 研究発表、支部研究報告、会員著作物紹介

16:30~16:40 閉会式 國澤英雄(実行委員長)